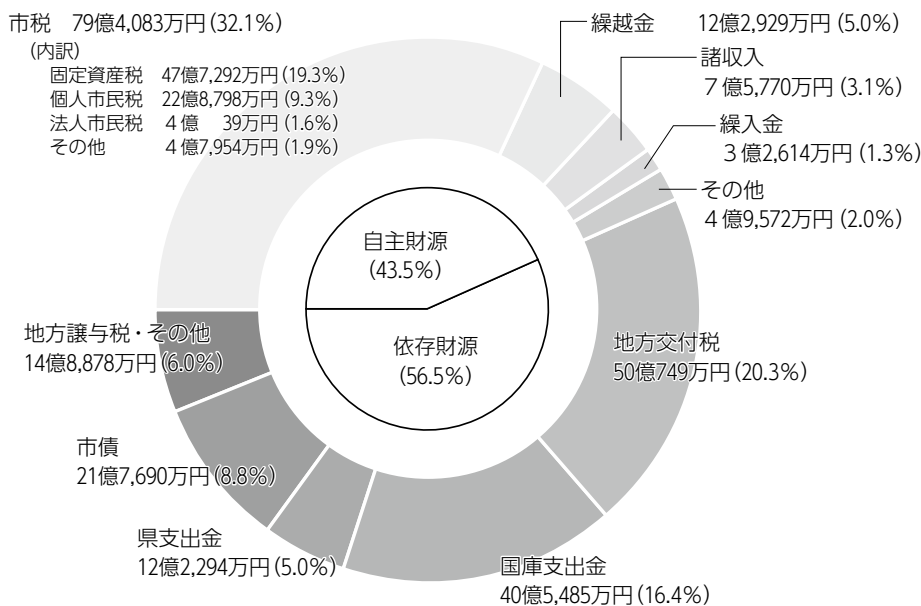


決算報告

一般会計歳入 247億64万円



一般会計歳入

一般会計の歳入は前年度に比べ、18億678万円(6.8%)の減となりました。

歳入のうち、市が独自に調達できる自主財源は107億4,968万円と、前年度に比べ4億8,312万円(4.7%)の増となりました。これは法人市民税が6,888万円(20.8%)増加するなど、市税で1億4,327万円(1.8%)増となったことや、繰越金で3億7,048万円(43.1%)増加するなどしたためです。

また、国や県から交付される補助金などの依存財源は139億5,096万円と、前年度に比べ22億8,990万円(14.1%)の減となりました。これは、前年度の子育て世帯への臨時特別給付金や道の駅整備事業などにより一時的に増加した国庫支出金が10億1,221万円(20.0%)減となったことや、市債が12億4,905万円(36.5%)減少するなどしたためです。

◆ 特別会計・企業会計決算

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険事業	35億 353万円	34億3,376万円
後期高齢者医療事業	12億1,404万円	12億1,282万円
発電事業	1億8,481万円	1億8,481万円
地域開発事業	2億 81万円	2億 62万円
牧場事業	3億2,960万円	3億2,960万円
フィッシャリーナ事業	3,747万円	3,747万円
企業会計	歳入	歳出
病院事業		
収益的事業	121億1,741万円	120億 496万円
資本的事業	5,375万円	14億6,276万円
水道事業		
収益的事業	3億4,065万円	3億3,728万円
資本的事業	2億 622万円	3億1,377万円
簡易水道事業		
収益的事業	1億3,705万円	1億2,362万円
資本的事業	1億2,807万円	1億4,846万円
下水道事業		
収益的事業	17億 68万円	16億6,999万円
資本的事業	11億6,470万円	17億1,221万円

*収益的事業については、決算額から消費税を除く。

市議会9月定例会において認定された一般会計、特別会計および企業会計の決算を報告します。

皆さんから納付いただいた税金や国・県からの補助金などの使われ方や市の財政状況などをお知らせします。

◆問合せ 財政課 ☎54-2116

令和4年度 決算報告

令和4年度一般会計

歳入	247億 64万円
歳出	236億8,096万円
差引	10億1,968万円

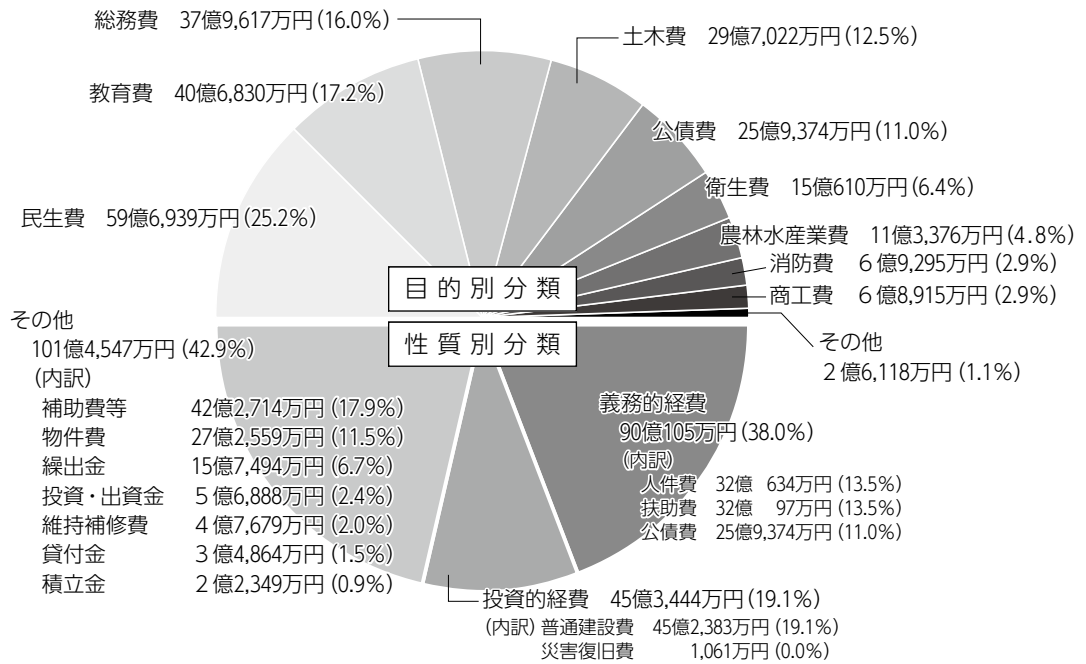
令和4年度一般会計の差引は、10億1,968万円の黒字決算となりました。そこから、令和5年度へ繰り越した事業に必要な金額を除いた実際の黒字は、7億7,933万円です。

市の財政は健全な状態を維持

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき算定された指標(表1)は、イエローカードである早期健全化基準値をすべて下回っており、また、実質公債費比率、将来負担比率ともに、財政状況は健全な状態を維持しています。

市債残高(表2)は前年度より減となりました。社会資本整備分の借入れにあたっては、地方交付税措置のある市債を最大限活用することで、市の実質的要負担額の抑制に努めています。

一般会計歳出 236億8,096万円



一般会計歳出

一般会計の歳出は前年度に比べ15億9,717万円(6.3%)の減となりました。

歳出のうち目的別で見ると、最も大きいのは民生費で、主に高齢者福祉や障がい者福祉、子育て支援などに使われたお金です。前年度に比べ4,507万円(0.7%)の減となりました。

次いで大きいのは教育費で、小中学校や図書館、総合体育センターなどの運営、また市民交流センターの整備事業などに使われたお金です。前年度に比べ9億793万円(28.7%)の増となりました。これは市民交流センターの整備事業費が増加したことによるものです。

また、性質別で見ると、最も大きいのは普通建設費で、市民交流センター整備事業費や防災行政無線デジタル化整備事業費などの工事費に使われました。

表1 財政指標からみた黒部市の財政状況

指標名	指標の概要	R4年度 (R3年度)	早期健全化 基準値 (イエローカード)	財政再建 基準値 (レッドカード)
実質赤字率	一般会計を中心とした赤字の比率	— (—)	12.95%	20.00%
連結実質赤字比率	全会計を対象とした赤字の比率	— (—)	17.95%	30.00%
実質公債費比率	収入から借金返済等に充てられた比率	10.7% (10.9%)	25.0%	35.0%
将来負担率	収入に対して将来負担が見込まれる負債の比率	117.3% (111.5%)	350.0%	
資金不足率	公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率	— (—)	経営健全化基準値 20.0%	

*赤字額および資金不足額がないため、実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足率は「—」と表示

表2 市債残高と地方交付税措置(見込)額

	令和4年度	令和3年度
市債残高(A)	310億1,858万円	313億4,307万円
(主な内訳)		
社会資本整備分	208億6,327万円	203億3,221万円
臨時財政対策債	96億8,572万円	101億9,481万円
地方交付税措置(見込)額(B)	190億8,254万円	197億 912万円
市の実質的要負担額(A-B)	119億3,604万円	116億3,395万円

? 市債とは

借金による資金調達のことです。

市債残高のうち、社会資本整備分は、道路、小中学校等の整備に要した借金です。臨時財政対策債は、本来国から交付される地方交付税の一部を、市が代わりに借入したもので、この返済相当額は後年度に地方交付税で全額措置されます。